



令和6年度 埼玉県一般会計予算が 決まりました

今回の予算は、知事が「歴史的課題への挑戦と未来への確かな布石」と位置づけ、一般会計で2兆1,197億4,400万円に及ぶ規模で編成されました。この金額は、新型コロナウイルス関連予算が計上された、直近の年度を除けば、過去最大の規模になります。



予算の具体的内容として、児童虐待防止策の強化、保育士の確保、放課後児童クラブの充実、子ども医療費の拡充などがあります。加えて、県立学校の普通教室への空調設備の公費負担など、子どもたちの安全と健康を守る施策や、学習環境の質の向上を目指した取り組みが予算に反映されていることは、将来を担う子供たちへの強い使命感を感じるところです。

さらに、サーキュラーエコノミーの推進、中小企業への支援、災害対策としてのジェンダー視点の導入やDXの活用、新型コロナウイルス感染症の教訓からの新たな感染症への備えなど、経済、環境、教育環境の質の向上への取り組みが盛り込まれています。

これらの施策は、「誰一人取り残されない社会の実現」と「県民の安全・安心の確保」を目指す埼玉民主フォーラムの方針と一致しています。

この予算により埼玉県が多様な課題に総合的かつ戦略的に対応し、より安心・安全に生活できる持続可能な社会へ進むことを期待しています。

県議って何をしているの？

とある県議の一日③

せんつい京子のお正月編

06:00	起床
07:00	朝食(頂いた採れたて お野菜でお雑煮)
08:00	事務作業
10:00	神社の元旦祭①
12:00	昼食 (もちもち武蔵野うどん)
13:00	神社の元旦祭②
15:00	神社の元旦祭③
15:30	移動
16:00	新年のご挨拶まわり
18:30	移動・休憩
19:00	帰宅
20:00	実家の母とテレビ電話で 新年のあいさつ
21:30	夕食(朝の残りのお雑煮 を雑炊に)
22:30	SNS投稿や メッセージの返信など
24:00	就寝

せんつい京子のプロフィール

- 昭和55年10月25日生まれ。B型
- 「せんつい(泉津井)」という苗字は埼玉県がルーツ
- 趣味は極真空手、四季折々の行事を楽しむこと
- フェリス女学院大学国際交流学部卒業
- 大和証券㈱に総合職として入社
- 国内線／国際線の航空会社で、客室乗務員(チーフパーサー)として空の安全を守る
- 令和5年 埼玉県議会議員選挙において12,472票を賜り、入間市初の女性県議として初当選



X
@sentsui_kyoko



Instagram
@sentsuikyoko



Facebook
@sentsuikyoko

せんつい京子公式ホームページ
<https://www.sentsui-kyoko.jp/>

訪問介護の基本報酬引き下げの改善を

4月から予定される介護報酬の改定は、全体では1.59%のプラス改定ですが、政府は訪問介護の基本報酬を引き下げようとしており、小規模事業者を中心に衝撃が走っています。これでは介護が続けられず、倒産が相次ぎ、地域の介護が崩壊してしまうのではと危機感が高まっています。

民主フォーラムは、県内の訪問介護事業所から改善要望を受け、訪問介護の基本報酬引き下げ方針を見直す働きかけを国へ行うよう、3月26日知事へ要望書を提出(福祉部長対応)いたしました。



災害に備えた「おうち防災」の徹底を！

このたびの令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

埼玉県においても、震度4の地震が観測されましたが、県内での被害はありませんでした。

地震や台風などの自然災害は、突然、想像を超える力で襲ってきます。しかし、日頃から防災対策をしておくことで、被害を少なくできる可能性があります。

防災対策で大切なことは、自分の身の安全を守るために一人ひとりが意識して取り組むことです。普段から家族や身近な人と防災について話し合い、準備をしておきましょう。

備えておきたい防災グッズ

- 飲用水：3日分(できれば7日分)
- 常食：3日分(できれば7日分)
- 常備薬
- カセットコンロ
- カセットボンベ
- 懐中電灯やヘッドライト
- 携帯トイレ：7日分
- ポリ袋
- ラップ
- 衛星用ウェットティッシュ
- 口腔ケア用ウェットティッシュ
- からだふきウェットタオル
- 携帯ラジオ
- 電池充電式バッテリー



羽田空港衝突事故について

新年早々、羽田空港での航空機衝突事故が起きました。お亡くなりになられた方々への深い哀悼の意を表するとともに、負傷された皆さまには心からのお見舞いを申し上げます。かつて客室乗務員として乗務をしていた私にとって、この事故は他人事とは思えず、深い悲しみを感じております。

客室乗務員は、乗客の安全を守るために、安全訓練を中心に厳しい訓練を受けてまいりました。その経験を通じ、緊急時には迅速かつ冷静に対応すること、そして何よりも乗客の皆さまを安全に避難させることが最優先であると学びました。今回の事故では、客室乗務員の方々がその訓練を生か

し、炎や煙に見舞われる中でも多くの命を救う決断をされたことに心から敬意を表します。

また、お客様には脱出時に荷物を置いていただくことの重要性を改めてお伝えしたいです。緊急脱出の際には、荷物よりも貴重な命を最優先に、ご協力をお願いいたします。

この事故を教訓に、私たちは今後も安全対策の見直しを行い、さらなる安全性の向上を目指す必要があります。そして、私自身も埼玉県の皆さまの安全を守るため、これまでの経験を生かして全力で努めてまいります。

県政報告会のご案内

日時

2024年5月6日(月曜日・祝)
10:00受付/10:30開始

場所

**入間市産業文化センター
B棟(図書館側)2階 研修室A・B**

主催

せんつい京子事務所

申込

申し込みは不要ですが、ご来場いただける方はご一報をいただけますと幸いです。



問い合わせ先

TEL: 090-4724-6757
Email: sentsuijimusho@gmail.com



せんつい京子のプロフィール

- 昭和55年10月25日生まれ。B型
- 「せんつい(泉津井)」という苗字は埼玉県がルーツ
- 趣味は極真空手、四季折々の行事を楽しむこと
- フェリス女学院大学国際交流学部卒業
- 大和証券(株)に総合職として入社
- 国内線／国際線の航空会社で、客室乗務員(チーフパーサー)として空の安全を守る
- 令和5年 埼玉県議会議員選挙において12,472票を賜り、入間市初の女性県議として初当選



@sentsui_kyoko



@sentsuikyoko



@sentsuikyoko

せんつい京子公式ホームページ
<https://www.sentsui-kyoko.jp/>

入間市初の女性県議

埼玉県議会議員

きょうこ
せんつい京子

県政レポート

一般質問 特別号 Vol.4

埼玉民主フォーラム 入間支部

初めての一般質問

県議会議員として初めての一般質問を行わせて頂きました。一般質問とは、議員が県の施策の状況や方針などについて、報告、説明を求めたり質問することをいいます。たくさんの資料を読み解き、また、様々な方々からご指導を頂きながら、今回は8項目を作成いたしました。その中の3項目は、実際、入間市の皆さまから頂いた声を基に質問させて頂きました。

今回はその3項目とカスタマーハラスメント対策について、質問と答弁の要約を掲載いたします。少々長い文章となりますが、お読みいただけましたら幸いです。これからも、埼玉県、そして地元入間市の為に何ができるかを考え、県政へ皆さまのお声を届けて参ります。



今回の一般質問8項目

- 1 カスタマーハラスメント対策について(知事)
- 2 狭山茶を更に広めるために(知事)
- 3 遠隔対応駅へのホームドア優先設置について(企画財政部長)
- 4 現役世代への支援について
 - (1) 卵子凍結への助成について(保健医療部長)
 - (2) 朝の小1の壁について(福祉部長、教育長)
- 5 がんに罹患しても安心して闘病できるために(保健医療部長)
 - (1) がん検診の推進について
 - (2) 緩和ケアの提供体制の強化について
- 6 難病支援について(保健医療部長)
- 7 視覚障がい者の理解促進を深めるために
 - (1) サピエ図書館の普及促進について(福祉部長)
 - (2) 県立高校における色覚検査について(教育長)
- 8 食物アレルギー対策について(教育長)

質疑質問・答弁全文につきましてはこちらをご参照くださいませ。

読み取りが難しい場合は、【埼玉県議会 令和6年6月定例会 質疑質問】で検索いただくとご覧になります。



フレイル予防のお手軽レシピ

鮭の包み焼き



材料／1人分

- ① 生鮭1切れ
- ② 玉ねぎ1/4個(50g)
- ③ しめじ1/4株(30g)
- ④ ブロッコリー3房(20g)
- ⑤ ミニトマト2個
- ⑥ 酒小さじ1
- ⑦ バター小さじ1
- ⑧ ポン酢大さじ1

①玉ねぎは薄切り、しめじ・ブロッコリーは小房にわける。

②皿にクッキングシートを広げ、玉ねぎ・鮭・しめじ・ブロッコリー・トマトの順にのせる。

③酒をまわしかけバターをのせ、シートで包み、電子レンジ(600w)で1分半ほど加熱する。
 ※アルミホイルは使用しないで下さい。

④やけどに注意しながら包みを開け、ポン酢をかけていただく。

こちらのメニューは埼玉県ホームページのフレイル予防お手軽レシピ(魚料理)より引用しております。詳しくはこちらをご覧ください。



Q カスタマーハラスメント対策について

私は前職の客室乗務員の時、お客様へ誠意をもって対応することを一番心掛けておりました。

しかしながら、一生懸命誠意をお伝えしても、目の前で怒鳴られたり、腕をつかまれたり、手を挙げるしぐさなど、理不尽なことで返ってくるケースもあり、今でも心に残るとても傷つく経験となりました。

これらの問題は、もちろん航空業界だけではなく、様々な業界で起こっており社会問題となっております。

以上のことを踏まえ、カスタマーハラスメントに関する相談・訴えの多い業種へのケアをするとともに、対策を県内企業へ広げるための支援について、知事へ所見をお伺いいたします。



A
知事

対策の推進に当たっては、何よりも、企業のトップがその重要性を理解し、企業として組織を挙げて取り組むことが重要であります。そこで、県では相談や訴えの多い業種の先進事例の共有や対策のポイントなどをテーマとした経営者向けセミナーの開催や、社会保険労務士等の派遣により、支援を強化してまいります。

また改めて、経営者のカスタマーハラスメント対策の重要性の意識を啓発すべく、要点を短くまとめた新たな動画を作成し、業界団体への視聴を呼びかけるほか、県の事業者向け公式ラ

イン等を活用して、周知を徹底してまいります。

加えて12月の「職場のハラスメント対策強化月間」を中心に、セミナー開催や個別相談、国や県の支援策の周知等を集中的に行い、構成団体と連携して、企業の取組を支援してまいります。



Q 遠隔対応駅へのホームドア優先設置について

令和6年4月より、西武鉄道では武蔵藤沢・稲荷山公園・仏子・元加治・東飯能・高麗駅の6駅が遠隔対応駅、つまりインターホンで対応する駅となりました。

私の地元入間市では西武線は4つの停車駅がございますが、入間市駅以外の3つが遠隔対応駅となりました。

ホームでの転落やお客様同士のトラブル、急病人の発生した場合の救護、障害をお持ちの方が急遽駅を利用せねばならなくなった際の対応等、今までと同様に対応できるのか、入間市の皆様からご不安の声を頂いております。

遠隔対応駅も安全を守るために、ホームドアの設置を優先していただけるよう、働きかけをしていただきたく、

企画財政部長にご見解をお伺いいたします。



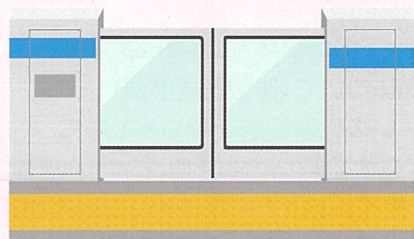
A
企画財政部長

西武鉄道におきましては、国土交通省が創設をした鉄道駅バリアフリー料金制度を昨年3月から導入をし、1日あたり利用者数10万人未満の駅へのホームドアの整備についても着手をし、バリアフリー化を加速させております。その結果、県内では、リハビリ施設の最寄り駅である新所沢駅におけるホームドアの整備に着手をしたところ です。

県におきましても、ホームドアの整備促進は、鉄道利用者の安全確保の観点から、大変重要であるというふうに認識をしており、一定数以上の利用者がいる駅などで、その費用の一部を補助しております。また、毎年度、西武鉄道に対して、ホームドアの「できる限り早期の整備」や、「特に視覚障害者が多く利

用する駅への配慮」を要望しております。

鉄道利用者の安全確保の観点から「遠隔対応駅へのホームドア優先設置」についても今後しっかり要望をさせていただきたいと考えております。



Q 朝の小1の壁について

夫婦で働く「共働き世帯」は近年、増加傾向が続いております。子育て世代の課題として「小1の壁」の中でも「朝の小1の壁」もさらなる課題となっております。

保育園の開所時間は、多少時間帯は異なりますが、朝は午前7時から7時30分の間には預かりを開始するのが一般的です。

一方小学生の「通学」のピークは午前7時30分から7時45分の間で、ついが多いのが、7時45分から8時の間でした。

統計上は数十分から1時間ほどのギャップですが、保

A
福祉部長

小学校の登校時間は保育所の預かり開始時間よりも遅いことが多いため、仕事と子育ての両立が難しくなる、いわゆる「朝の小1の壁」があり、こどもを預けられる場所を望む声があることを承知しています。

こども家庭庁に確認したところ、保護者や地域のボランティアなどのご協力を得て朝のこどもの居場所として実施してい

また、他の選択肢として、学校を早く開放するという方法も考えられます。しかしながら、近年は教師の長時間労働が問題となっております。

そこで、大阪府豊中市では、民間企業に委託して全校に見守り員を配置し、朝の7時から学校を開放する取り組みを始めており、これは朝の子供の居場所を確保しつ

A
教育長

(せんつい)議員お話のような朝の学校開放の取組が、全国的にいくつかの自治体で始まっていることは承知しております。議員御提案の、市町村が民間へ委

育園の時に朝早くから預けて出勤していた共働き世帯にとっては、大きな問題になりかねず、子どもの小学校進学に伴い、朝の対応を迫られたり、働き方や仕事を変えなければならなかったりする保護者が、一定数出てまいります。

このように朝の小1の壁、朝の子どもの居場所が注目を浴びています。そこで朝の子どもの居場所について、福祉部長にご所見をお伺いいたします。



る市町村の事例が全国で少しずつ生じているとのこと です。

こうした事例は、「朝の小1の壁」という課題に対する有効かつ現実的な方策であると考えます。

県といたしましては、市町村に対して、こうした事例を積極的に紹介するとともに、活動を担う地域ボランティアの配置等に活用できる国庫補助事業について情報提供してまいります。

つ、教員の負担にも配慮した画期的な方法だと思えます。そして、この取り組みが、全国的に広がりつつあるようです。

このような朝の学校開放の取り組みについて、どうお考えか教育長のご所見をお伺いいたします。

Q 「狭山茶を更に広めるために」について

日本三大銘茶の1つとして知られる埼玉県の特産品である、狭山茶は、地元入間市が主産地であり、生産量・栽培面積も県内一番を誇っておりますが、日本の国内市場に目を向けると、残念ながら日本茶消費量は縮小傾向にあります。

一方で、国外に目を向けると、特にアメリカのカフェでは緑茶や抹茶を扱う店が増えるなど、輸出量や輸出額は毎年右肩上がりとなっているようです。

日本国内で狭山茶ブランドを広めていくことは大前提として、そこにプラスアルファとして日本に来てくださる

外国の方にも、ぜひこの狭山茶に触れて頂きたいと考えております。

狭山茶の更なる振興が必要と考えますが、県としてどのように取り組んでいくのか知事に伺います。



A
知事

狭山茶は、生産者自らが栽培、製造、販売を一貫して行う「自園自製自販」が特徴であり、生産者ごとに味わいが異なり、バラエティー豊かであることが魅力の一つであります。これまで、県では、商業施設でのイベントや、新しいお茶の楽しみ方を提案していただくレシピコンテストなどを実施してまいりました。

昨年は、大阪で開催された世界最大級の旅行博である「ツ

ーリズムEXPO」において、来場者に狭山茶を御試飲頂いたり、埼玉県物産観光協会のインバウンド向け観光情報サイトでは、茶摘みや入間市の茶畑テラス「茶の輪」で狭山茶を楽しむ体験型観光について、英語、中国語で発信しています。

今後、観光関連事業者や茶業者と連携しながら、本県が誇る狭山茶を国内外に広くPRして需要の拡大を図り、狭山茶の更なる振興につなげてまいります。